

宮崎生協病院 内科  
卒後臨床研修プログラム計画表

指導体制

内科指導医（指導医会講習会受講者）1名を担当とするが、基本的に全医師で指導を行います。

研修スケジュール

詳細検討中（病棟中心）

研修医の希望に配慮します。

特徴（経験できる症例等）

急性期から慢性期までの幅広い疾患を経験できます。

中小規模病院ならではのスタッフ、患者様の顔がよく見えます。

その他（学生に対するPR）

研修理念

私達の病院は「地理的な離島があっても、人の命に離島があってはならない」というスローガンのもと、活動している鹿児島・宮崎民医連の病院として1990年より内科基礎研修医（2～3年目）を総合研修として受け入れて来ました。当院の前身である宮崎共立診療所は、1976年に宮崎に患者、働くものの立場に立つ医療機関をという県民の期待にこたえるべく設立されました。

地域に根ざした医療機関として、内科、外科、小児科の診療科を有し一般病床90床、療養型病床30床の120床で、外来、病棟、在宅、健診、救急などの医療活動を展開しています。また、関連クリニック（和知川原、おおつか、このはな）3院所、訪問看護ステーション、ホームヘルパーステーションと連携をしています。

生活協同組合立という性格上、医療生協の組合員の医療・福祉・介護の要求に応えつつ日常診療に携わり、医療を受ける主体者である患者様、その家族、地域住民の方々の声を大切に、親切で良い医療を目指して医療活動を行ってきました。

このような背景のもと、わたしたちは、真に地域に求められる医師を養成することを目的としています。内科医を指向する医師は、診療所の医療活動を独力で担えるような力量を持つことを目的とします。